

『矛盾』

むかしの中国の話。

楚という国に、楯と矛とを売る人がいました。その人が売り物をほめてこう言いました、

「うちの楯はかたいよ、つらぬけるものなんかないよ」

と。また矛をほめてこう言いました、

「うちの矛はするどいよ、つらぬけないものなんかないよ」

と。

ある人が言いました、

「じゃあ、あなたの矛であなたの楯をつらぬいたら、どうなるんだい？」

と。

商人は言いかえすことができませんでした。

そもそも、つらぬくことのできない楯と、つらぬけないものない矛とがこの世で同時にあることはできないのです。今、(わたしが)

堯と舜という王様を両方同時にほめることができないのも、この

矛盾の話と同じだからです。

『韓非子』難一より
(福西ノ訳)